株式会社マルマエ
www.marumae.com

東証マザーズ(TSE Mothers):6264

株式会社マルマエ
平成24年8月期 第3四半期決算説明会

平成24年7月13日
東京国際フォーラム G410



Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

1.決算概要

株式会社マルマエ
www.marumae.com

P/L分析

P/L

	平成23年8月期 第3四半期累計期間		平成24年8月期 第3四半期累計期間		
	金額（百万円）	割合（%）	金額（百万円）	割合（%）	対前年同期増減率（%）
受注高	841	—	777	—	▲7.7
受注残高	181	—	119	—	▲34.2
売上高	946	100.0	862	100.0	▲8.8
売上原価	831	87.8	666	77.2	▲19.8
売上総利益	115	12.1	196	22.8	70.7
販売管理費	134	14.2	139	16.2	4.0
営業利益又は営業損失（▲）	▲19	▲2.1	56	6.5	—
経常利益又は経常損失（▲）	▲51	▲5.5	32	3.8	—
特別損益（▲）	▲153	▲16.2	▲47	▲5.6	—
当期純損失（▲）	▲208	▲22.1	▲18	▲2.1	—
EPS（円）	▲11,254.41	—	▲1,033.14	—	—
EBITDA	172	—	173	—	0.6

Point

①受注状況

■ FPD分野：331百万円
（対前年同期：36.5%減）
■ 半導体分野：368百万円
（対前年同期：9.4%減）
■ 太陽電池分野：3百万円
（対前年同期：88.0%減）
■ その他分野：73百万円
（対前年同期：272.3%増）

※平成23年8月31日付で装置組立事業を廃止いたしました。

②売上高（販売分野別は次頁参照）

• 対前年同期8.8%の減少

③売上原価・売上総利益

• 生産構造改革
- 固定費削減＆生産性向上

④営業利益

• 販売管理費はほぼ横ばい

⑤営業外収益/費用

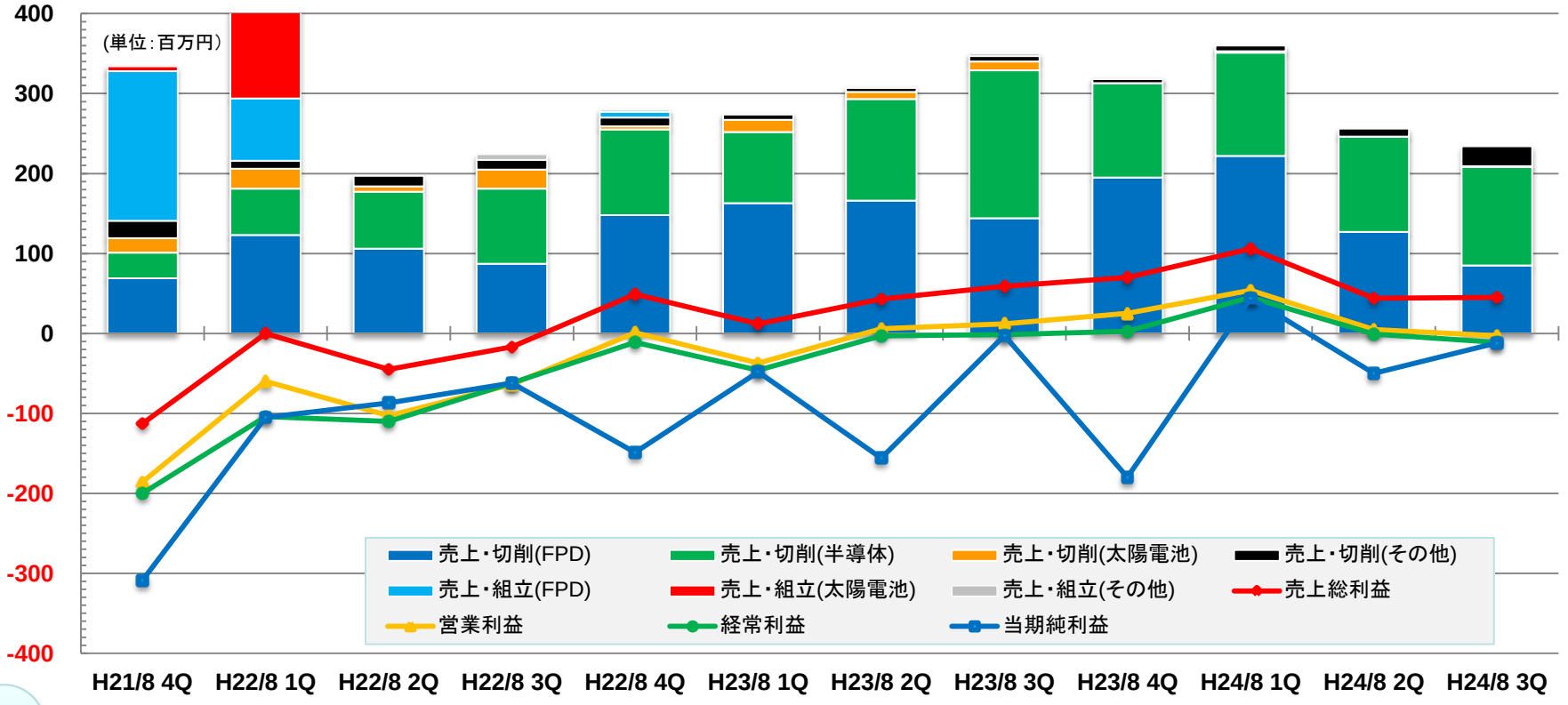
• 支払利息：16百万円
• 減価償却費：9百万円（熊本事業所分）
• 為替差益：2百万円

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

1.決算概要

株式会社マルマエ
www.marumae.com

四半期業績の推移



Point

①精密切削加工事業の売上高は鈍化

■FPD分野:累計436百万円(対前年同期:8.0%減)
- 業績を牽引した中小型装置部品が一時的に減速

■半導体分野:累計372百万円(対前年同期:7.5%減)
- 市場環境が悪化するなかでも安定した売上高

■太陽電池分野:累計3百万円(対前年同期:89.5%減)

■その他分野:累計49百万円(対前年同期:80.8%増)

②利益面は売上停滞に伴い若干悪化

- 3Q単独で3百万円の営業損失
- 固定費低減など生産構造改革が奏功
- 熊本事業所売却等に関連する特別損失:51百万円
- 固定資産売却による特別利益:3百万円

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

1.決算概要

B/S分析

B/S

（単位：百万円）	平成23年8月期 会計年度末	平成24年8月期 第3四半期末
流動資産	662	722
現金及び預金	144	429
受取手形・売掛金	452	258
たな卸資産	46	30
固定資産	1,583	1,110
建物・土地	990	609
機械及び装置	416	333
流動負債	152	91
有利子負債（短期）※	6	—
固定負債	2,018	1,685
長期借入金	2,008	1,680
負債合計	2,170	1,776
純資産合計	74	56
総資産	2,245	1,833

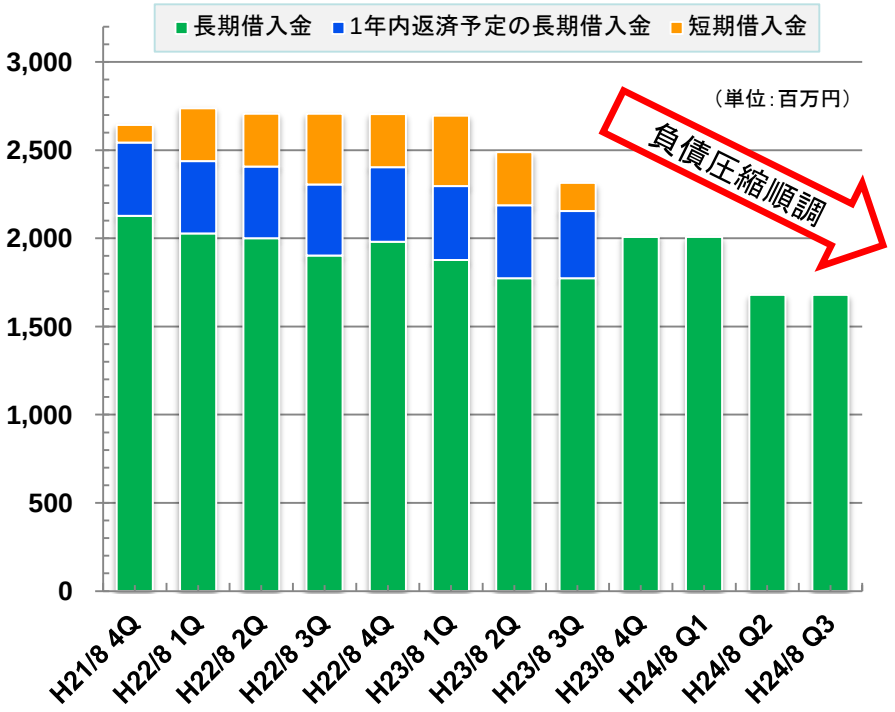
※　有利子負債（短期）：短期借入金＋1年内返済予定の長期借入金

Point

① **資産：1,833百万円(前期末比：412百万円減少)**
- 現金及び預金：284百万円増加
- 受取手形及び売掛金:194百万円減少
- 有形固定資産：477百万円減少　他

② **負債：1,776百万円(前期末比：394百万円減少)**
- 長期借入金:328百万円減少

③ **純資産：56百万円(前期末比：18百万円減少)**
- 自己資本比率　3.1%



Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

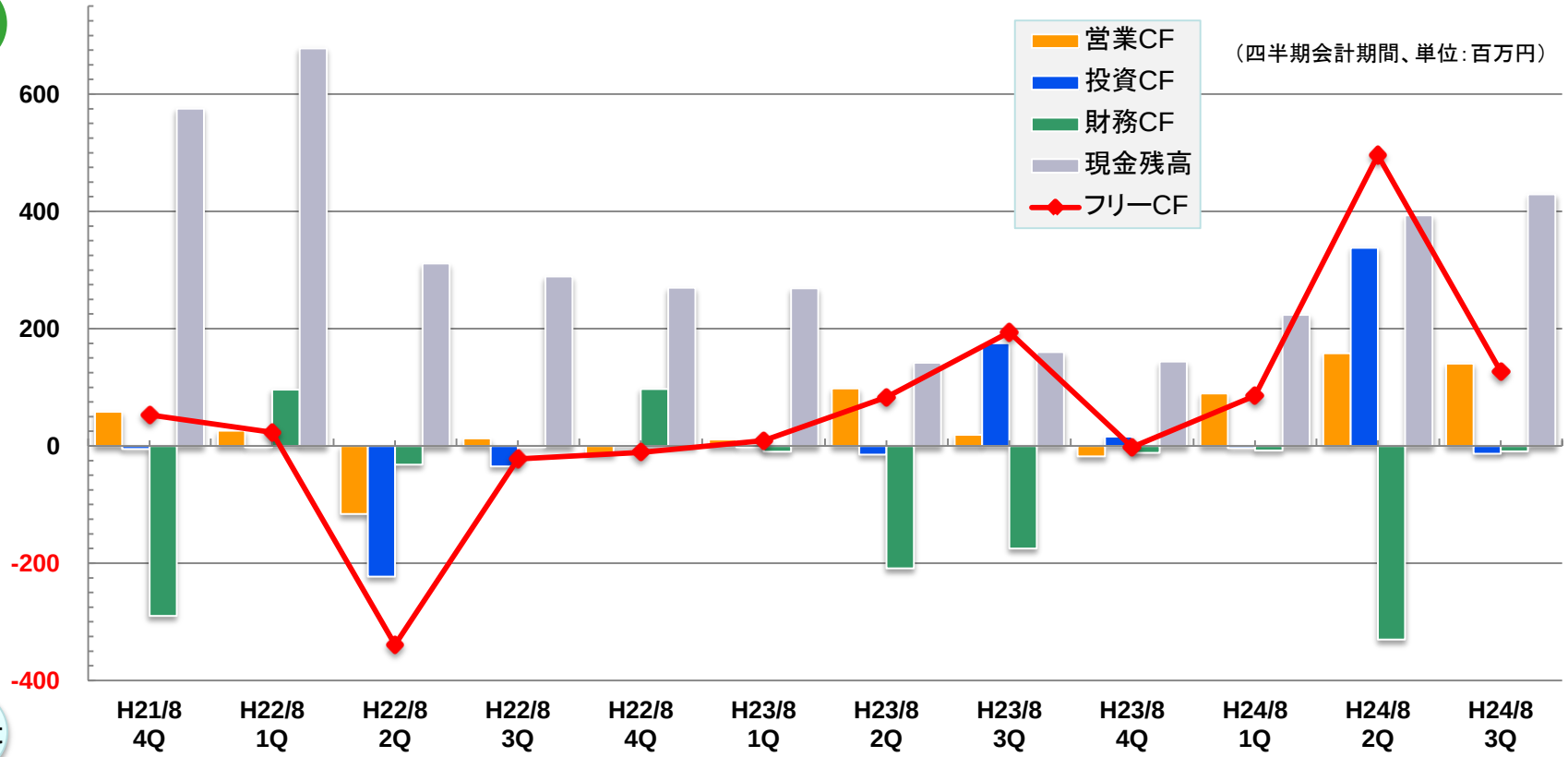
進化する技術で未来を拓く

1.決算概要

株式会社マルマエ
www.marumae.com

CF分析

CF



Point

①営業活動によるキャッシュ・フロー：＋298百万円

- 減価償却費：116百万円
- 売上債権の減少額：194百万円
- 棚卸資産の減少額：16百万円
- 未払消費税等の減少額：20百万円

② 投資活動によるキャッシュ・フロー：＋324百万円

- 有形固定資産の売却による収入：343百万円
- 有形固定資産の取得による支出：12百万円

③財務活動によるキャッシュ・フロー：▲339百万円

- 長期借入金の返済による支出：328百万円

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

進化する技術で未来を拓く

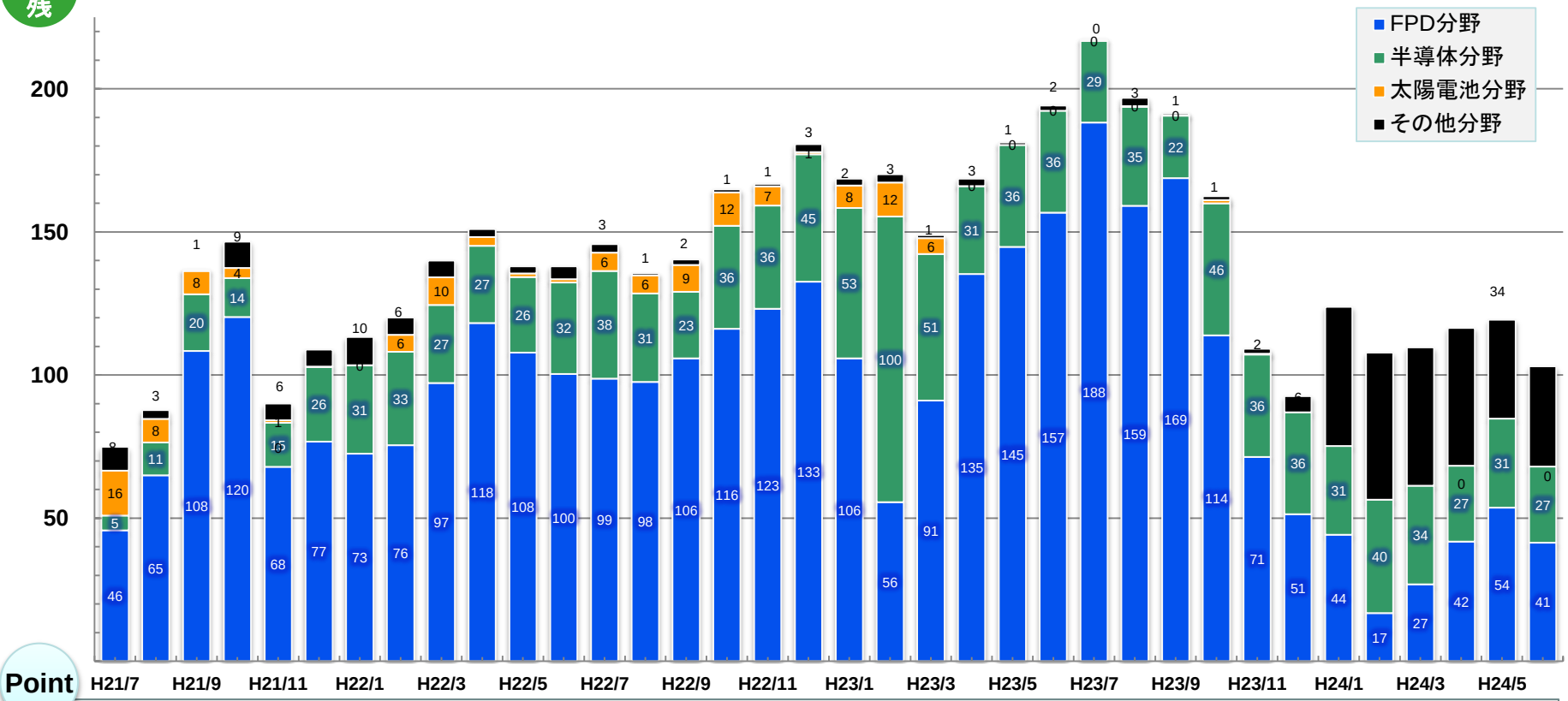
2.事業環境

株式会社マルマエ
www.marumae.com

月次受注残高の推移（精密切削加工事業）

受注残

（単位：百万円）



Point

- FPD分野は、中小型パネル向け設備投資が見込まれ、第４四半期以降に再拡大の見通し
- 半導体分野は、市場の低迷は6月を境に回復、新規顧客開拓と試作によりに増加傾向
- 太陽電池分野は、試作の受注が続く見通し

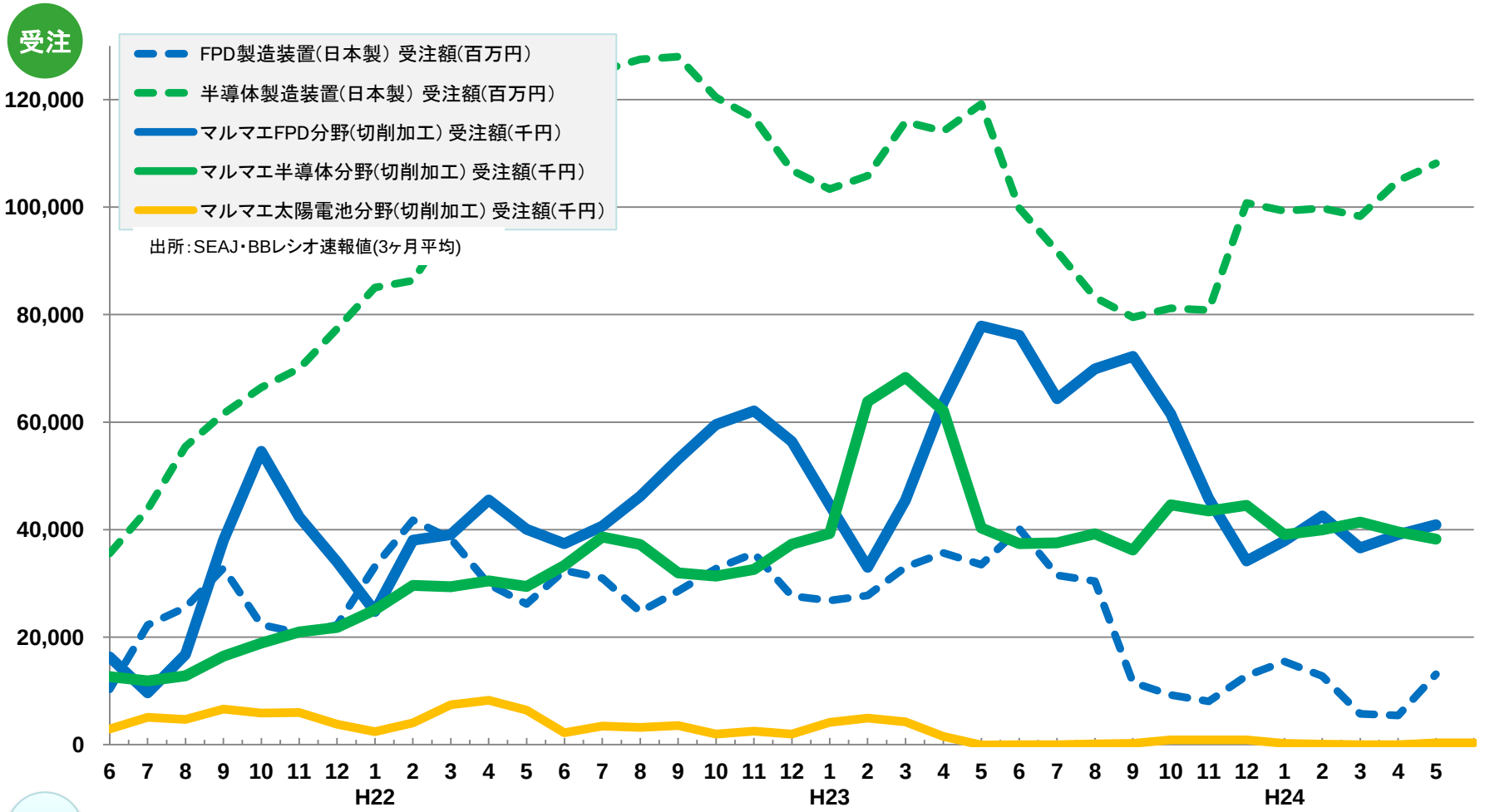
※当社の受注は、案件ごとに長短さまざまなリードタイム（LT)があり、LTの長い案件が多いと売上高にくらべ受注残が多めで、LTが短い案件が多いと売上高にくらべ受注残は低めに表れます。（主に半導体はLTが短く、FPDはLTが長めです）

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

2.事業環境

株式会社マルマエ
www.marumae.com

市場とマルマエの受注動向比較（3ヶ月移動平均数値）



Point

- FPD分野は、テレビ向け設備投資は停滞。また、スマートフォンやタブレット向け中小型設備投資も一服
- 半導体分野は、横ばい程度の市場環境。国内に比べ、若干海外エンドユーザーが好調。競合激化
- 太陽電池分野は、試作品程度の少量受注が継続

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

2.事業環境

株式会社マルマエ
www.marumae.com

販売分野別の環境と営業方針

FPD分野

- ◆ 中小型パネル装置の複数投資計画が具体化
- ◆ 期末にかけて、VE提案で受注シェア拡大

半導体分野

- ◆ 製造装置は市場停滞から微増傾向
- ◆ 当社は客先内シェア拡大と自社工場の高付加価値品特化策

太陽電池分野

- ◆ 市場は再拡大も当社得意の薄膜シリコン系装置の苦戦継続
- ◆ 電極など主要部品に絞り試作品受注継続

その他分野

- ◆ 当社の技術が活かせる新分野へ拡大方針
- ◆ 原子力・通信・発電・原動機・医療関連等、幅広い営業展開

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

3.平成24年8月期の業績予想

株式会社マルマエ
www.marumae.com

今期の見通し

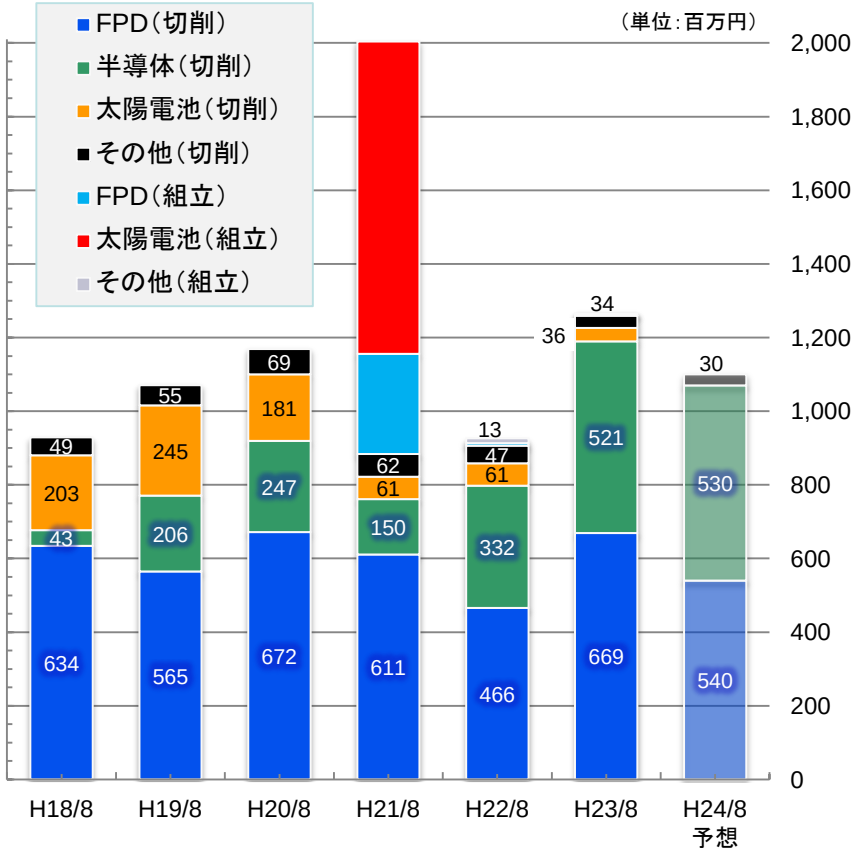
業績予想

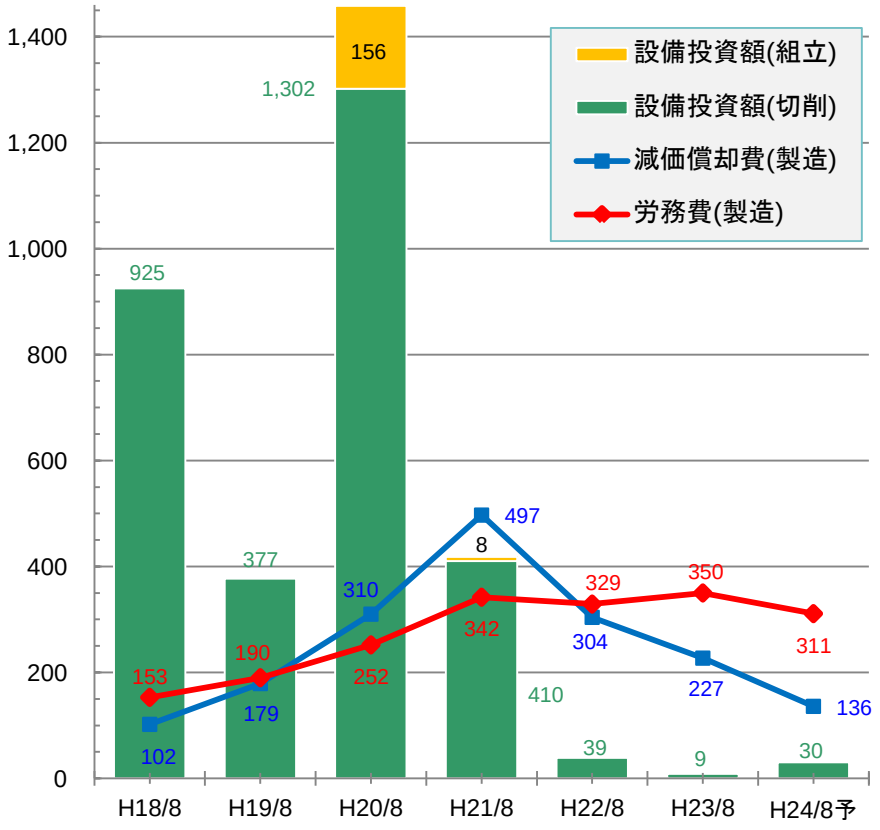
(単位:百万円、1株当たり当期純利益は円)

平成24年8月期 業績予想	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	1,100	60	20	△20	△1,146.39
対前期増減率	△13.2	-	-	-	-

Point

引合いは増加するも、第4四半期は厳しい市場環境





Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

4.事業再生計画の進捗

株式会社マルマエ
www.marumae.com

「原点回帰」をテーマに人的技術力を高め、精密切削加工技術の本質を追求していきます。

基本方針
- 市場環境の変動（価格低下、景況変動）に耐えうる費用構造の構築
- 安定受注先確保に向けた、営業管理体制の構築
- 合理的組織運営の基盤となる意思決定および執行の組織化

生産構造改革

余剰資源削減
- 余剰設備の売却
- 熊本事業所の土地建物の売却
  - H24/2末に土地建物の売買成立→弁済
- 生産性向上
  - マルマエ生産方式の確立
- 不良品流出の削減

固定費の変動費化
- 外注の有効活用
  - 海外調達展開
- リピート品受注の拡大

営業改革

案件別採算管理強化
- 受注時の判断基準の明確化
- 原価未達要因の追求

受注責任の明確化
- 組織再編

売上増加
- 新規分野開拓
- 半導体分野の拡大
- 外注活用による受注拡大
- 営業人材の育成

組織改革
- 社内制度の充実やシステムの改良等の環境整備
- 組織再編

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

注意事項

本資料に掲載された情報、及び、口頭によって説明された実現していない内容に関しては、ある一定の仮定の元に予想された見通しであり、マルマエ経営陣の判断など不確実要素を含んでおります。

本資料は、株主・投資家などの皆様にマルマエの現況と経営方針をご理解いただくために作成されたものであり、利用者に対して、当社株式の購入・売却など投資判断を提供するものではありません。投資に関しての責任は負いません。

数値などの情報には注意をはらっておりますが、掲載の内容については未監査の数値も多く、確度を保証するものではありません。また、掲載された情報、またはその誤りについて、その理由に関わらず、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料に関するお問合せ先
株式会社マルマエ　管理部総務課　IR担当

ir@marumae.com

TEL 0996-64-2900　FAX 0996-64-2863

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

Company Profile

企業情報

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

会社概要

株式会社マルマエ
www.marumae.com

進化する技術で未来を拓く

会社名	株式会社マルマエ （Marumae Co., Ltd）
設立	昭和63年10月
資本金	1億3300万円 （平成24年5月31日現在）
役員	代表取締役社長 前田俊一 専務取締役 山元 弘　　監査役 紫尾俊一 取締役 海崎功太　　監査役 寺畑幸雄 取締役 藤山敏久　　監査役 大道卓
従業員数	83名 うち 臨時雇用者等12名 (平成24年5月31日現在）
所在地	本社　〒899-0401 鹿児島県出水市高尾野町大久保3816番41 関東事業所　〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町2-17-15
事業内容	・精密機械・精密機器の設計・製造・加工・組立 ・精密機械部品の設計および製作 ・溶接部品の設計製造 ・運送業務

大株主（普通株式）	
前田　俊一	9,270株
株式会社マルマエ（自己株）	1,094株
前田　美佐子	840株
前田　良子	300株
五十嵐　光栄	279株
マルマエ共栄会	272株
マルマエ従業員持株会	132株
平岩　靖	128株
齋藤　格	120株
出口　勝志	115株
マネックス証券株式会社	102株

敬称略　平成24年5月31日現在

経営理念

1.技術は究極を目指し
2.競争と協調を尊び
3.技術注力企業として社会に貢献する

経済を支える“モノづくり”の中で、モノづくりの源流である部品加工にこだわっていきます。
そして、さまざまな分野で総合メーカーを支えられる企業となるために先端技術と供給力を持つ部品加工のリーディングカンパニーを目指します。

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

会社沿革

株式会社マルマエ
www.marumae.com

進化する技術で未来を拓く

年月	沿革
昭和40年4月	鉄工所を故前田務（元社長、元相談役）が個人で創業
昭和63年10月	個人経営の鉄工所をマルマエ工業有限会社（現当社）に改組（出資金2,000千円）
平成4年	オートバイ部品製造目的のT'sM'sR&D（現当社事業）を前田俊一（現代表取締役社長）が個人で創業
平成9年9月	T'sM'sR&Dの事業をマルマエ工業有限会社が引継いでR&D事業部を設置
平成9年10月	R&D事業部にて発電所用タービンブレード受注開始、3次元CAD/CAMの導入
平成12年3月	同時5軸加工機導入
平成13年4月	株式会社マルマエに商号および組織変更（資本金10,000千円）
平成15年12月	鹿児島県出水郡高尾野町（現出水市）に本店移転、新本社工場竣工、大型5面加工機導入
平成16年4月	工場増床、高回転型門型加工機導入
平成16年12月	日本証券業協会によるグリーンシート銘柄指定（証券コード6264）
平成18年2月	鹿児島県出水市知識町に新工場（知識工場）取得
平成18年12月	東京証券取引所マザーズ市場に上場
平成19年2月	熊本県菊池郡大津町の熊本事業所が稼働開始
平成19年5月	経済産業省発表の2007年度版「元気なモノ作り中小企業300」に選定
平成20年4月	埼玉県朝霞市の関東事業所が稼働開始
平成20年5月	熊本事業所組立工場竣工
平成20年5月	本社第4工場竣工
平成20年9月	熊本事業所加工工場増設
平成23年4月	熊本事業所の閉鎖
平成23年7月	事業再生ADR手続の成立

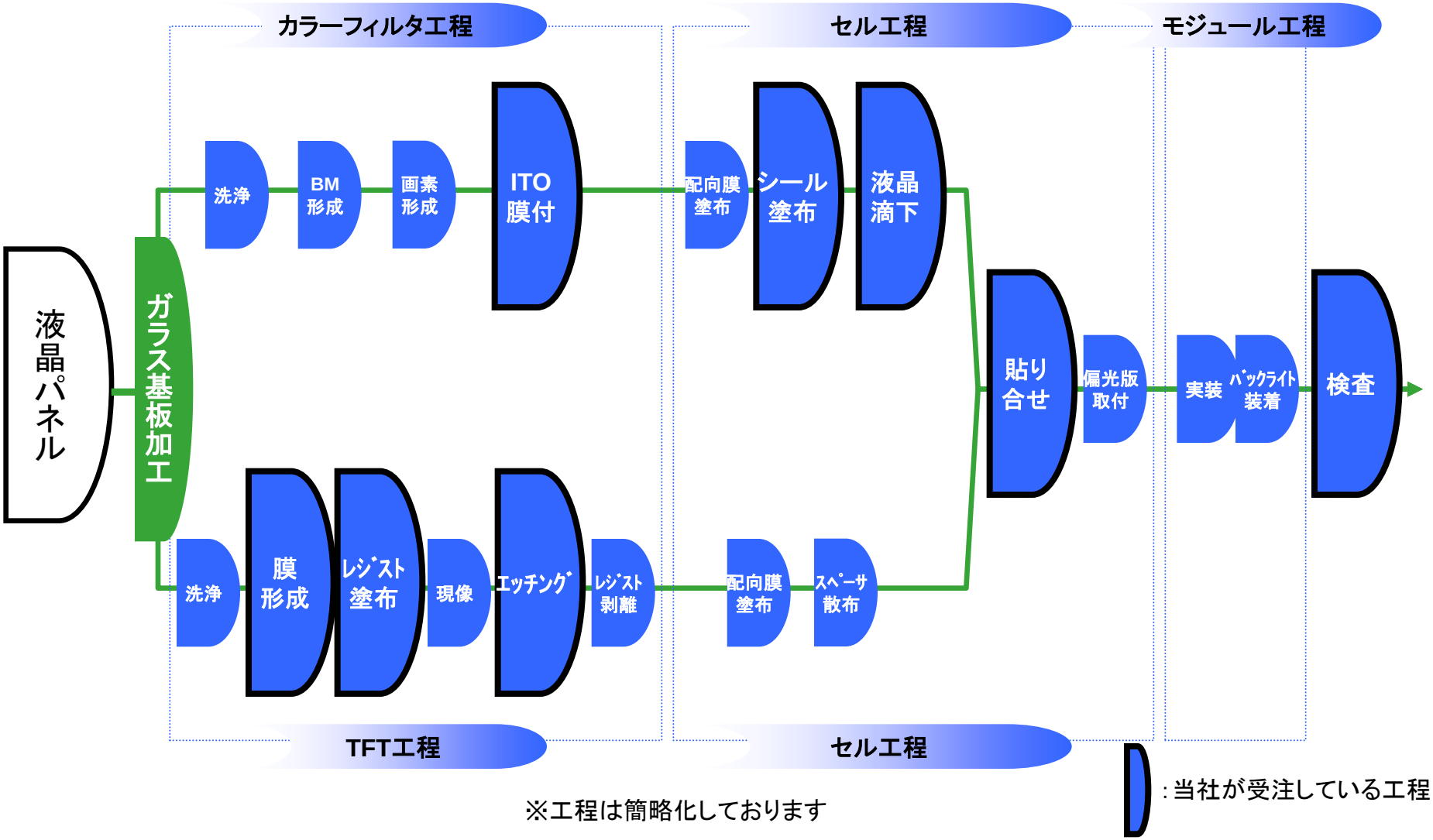
※注　個人事業部分については、月次の確定が困難なため月日の記載を省略しております。

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

販売分野

株式会社マルマエ
www.marumae.com

FPD分野～液晶パネル製造工程と当社関連工程

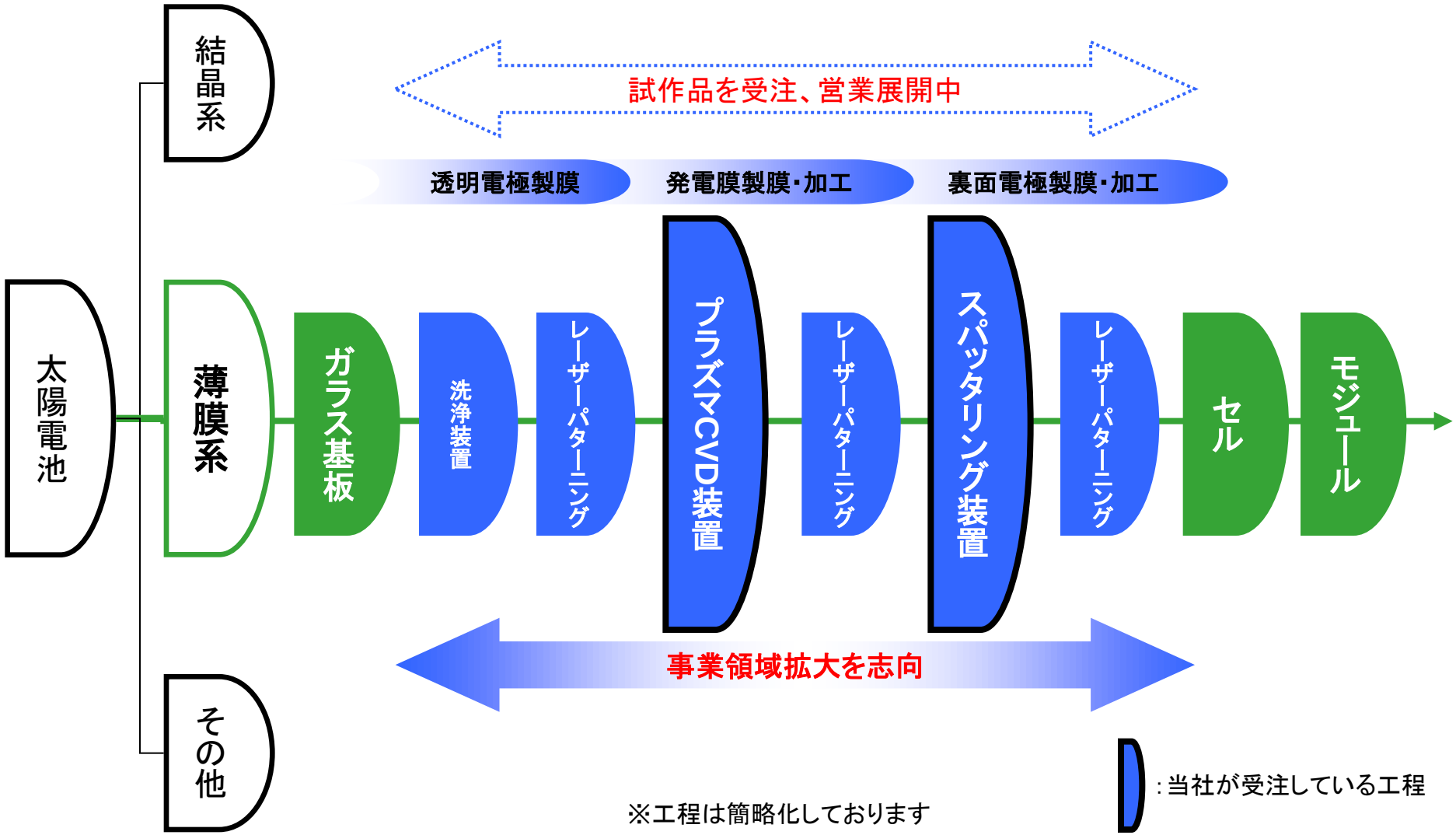


※工程は簡略化しております

Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved

販売分野

太陽電池分野～太陽電池製造工程と当社関連工程



Marumae Co.,Ltd. All Rights Reserved